

2019 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [京都市立嵐山小学校] 担当教諭名 [森元 悠加] (6年1・2組 70名)
 相手国・地域 [アイスランド]
 海外学校名 [Salaskoli] 担当教諭名 [Lilja Baldvinsdóttir / Sigríður Marrow]

■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科	単 元 名	時間数
	総合的な学習の時間	世界の仲間とともに	40
	図画工作	世界の仲間とともに	5

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	未来へつなごう わたしたちのまち
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	お互いの町や国に美しい風景がたくさんあることを知りました。しかし、魅力ばかりではなく、問題を抱えていることも学びました。だれもが住みたくなるような幸せな町を未来へ残していきたいという願いをこめました。
	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
外国の国が身近になったようでした。アイスランドについて国名しか知らなかった児童も多かったのですが、交流し、さらに一枚の絵を一緒に描く活動を通して身近に感じられ、学習後も積極的に外国の人と交流したいと思いをもちることができていました。また、学習を通して、自分たちの住む町や国への課題意識も高まり、「解決するために自分たちから行動していきたい」と考えをもちることができていました。	わたしたちがうまく見通しがもてておらず、頻繁な交流や協働学習の回数をあまり多くもてなかったことです。学校行事や日々の取組、業務に追われてしまい、フォーラムの返事をなかなか返せなかったり、学習したことを発信できなかったりしました。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
身近に感じるようになっていたようでした。アイスランドのきれいな風景や学校の様子を見せてもらい、「行ってみたい！」と感想を述べていました。ある女の子は、「これまであまり外国に行ってみたくて思っていなかったけれど、アイスランドと勉強をして、行ってみたいくなった。」と学習の振り返りをしていました。また、アイスランドの抱えている問題点が自分たちの町や日本と共通していることが多くあることを知り、世界全体で協力していかなくてはならないと考えを深めていました。	様々な教科で外国の文化にふれたり、学習をしたりすることがありますが、そのときに身近な国のひとつとしてアイスランドを挙げるのが多くありました。また、京都や日本が直面している課題は、世界も直面していると改めて実感し、地球に住む一人の大人として、課題に向き合っていかななくてはならないと感じました。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	5月 6月	世界にはどのような国があるのか考えました。アイスランドと交流することを知り、自己紹介をしました。自分こと、学校のこと、地域のことを紹介したいと決め、進めていきました。	アイスランドと交流することを知り、わくわくしていました。学習した英語を使って、自己紹介(自分のこと学校のこと)をすることができました。	総合10
共有 テーマ学習	7月 9月	地域のことを紹介するために、地域の魅力、改善すべき点を調べ考えました。改善すべき点に着目し、どのような町をめざしていくのか考えました。	魅力ばかりだと思っていたけれど、そうではないことを知り、町の課題が「自分事」となりました。より身近に課題をとらえ、考えることができました。	総合15
融合 メッセージ作成	10月	アイスランドの国も問題を抱えていることを知り、世界で協力して問題を改善していかなければならないことを考えました。どのような町なら世界のだれもが住みやすいのか話し合いました。	日本と似たような問題を抱えていることを知り、驚いていました。同時に、協力して改善していく必要がある、と考えを深めていきました。今ある美しい風景や町、人々のやさしさを未来へ残していきたいとの思いをもちました。	総合8
創造 壁画制作	11月 12月	話し合ったことをもとにデザインを考えました。どのようなものを絵の中に入れていかみんなで考え、その後何人かの児童がデザインを考えました。それをもとにみんなで分担して絵を制作しました。	みんなで協力して絵を仕上げていきました。声をかけあったり、アドバイスし合ったりして、制作することができました。日本側の絵ができたときはみんなで喜び、達成感を感じていました。	図工5 総合5
評価 振り返り 自己評価	2月	アイスランドから壁画が届き、みんなでできどきしながら開封しました。できあがったことをみんなで喜び、校内の作品展に展示して、下級生や保護者の方にも見ていただきました。アイスランドの友達とともに学習してどうだったか、自分にどのような力がついたのかについて振り返り、話し合いをしました。	「ぼくの描いた人とちゃんと手がつながれている!」「日本の国旗上手!」など、相手に伝えたことがきちんと作品として返ってきたことに大きな喜びを感じていました。海を越えて、作品を通してつながれたことを実感していました。「このあともずっと交流したい」「これからも外国の人と積極的に交流したい」「人と協力して取り組みたい」と振り返っていました。	総合2

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	自分たちの町について紹介するために、魅力だけでなく改善すべき点についても考えました。インタビューやアンケートをして調べ考えました。
異文化を理解する力	4	全然様子が違う部分があることを初めて知ったようでした。一方、似たような課題を抱えていることも知りました。違う部分を否定するのではなく、お互いに受け入れ、理解することで仲良くできると考えていました。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	4	自分たちの町についてPMIシートを活用し考えました。アンケート、インタビューなど情報を集めたことを付箋紙に整理したり、その情報をレーダーチャート、座標軸などにまとめたりして考えを深めました。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	4	外国語学習で学んだ英語を使って、自己紹介をしました。また、「夏休みの思い出」について学習をしたので、単元の終わりにビデオをとって、フォーラムで送りました。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	初め、自分たちの住む町には、魅力ばかりだという考えをもっていました。調べていくうちにそうではないことを知り、どうにかしなくてはいけないと思いをもちました。自分の外から見た町の様子、国の様子について考えを深めることができました。
主体的に考え行動する力	4	自分たちの理想の町(だれもが幸せで住みやすい町)にするには、まずは自分の行動から気を付けていくことが大切であるという思いをもちました。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	4	互いの意見を話し合い、その意見をまとめていたり、みんなで協力して絵を制作していたりすることができました。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	自分たちの考えを絵に表すために、どのようなものをえがくとよいか話し合い、決めていきました。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	学習を振り返り、どのようなことを学ぶことができたのか考えることができていました。また、出来上がった作品をみんなで鑑賞し、感想を伝え合いました。